

創新研究開發

研究開發特許が逐年で成長

2009年の業者特許申請件数は1,516件、許可件数は836件でした。2003年から2009年までの累計申請件数は11,462件で、許可件数は7,388件です。毎年園區の平均申請件数はいずれも1,000件を超えて、引続き成長し累積を重ねています。

創新發明

園区内業者が推進する研究開發創新活動を奨励するため、南科管理局は2001年より「創新研究開發奨励援助計畫」を推進していて、2009年には計11案を許可し、総奨励援助金額は3,000万元でした。2009年末時点での累計で、計72案(31%は政府投入)に奨励援助を許可し、金額は約1.99億元です。2007年から2009年までの統計で、論文6篇、特許取得37件、修士博士育成32名及び業者の派生生産高103,442万元を創出しています。

人材育成

人材育成強化と産業との結び付き

人材育成補助計畫

学校と業界間の人材育成を結び付きするため、三大科学工業園區管理局が共同で執行し、大学や専門学校関連学部の大学3年生及び専門学校の4年生以上の卒業予定者の專業知識や技能を向上させています。

2008学年度計畫(2009年7月まで執行)で、計13校20組のモジュール・カリキュラムを補助し、学生人数は1,805人に達しました。2009学年度計畫(2009年8月から執行)では、計12校18組のモジュール・カリキュラムを補助し、補助経費は1,000万元に達しました。

專業及び技術人材の育成

園区従業員の專業技術を向上させる為の教育訓練カリキュラムには半導体、光電子、精密機械、通信、バイオテクノロジー、科学技術經營管理等が含まれます。2009年のカリキュラムは計57回、総時数687時間行われ、更に6回の講座が開催されて、延べ2,920人が教育訓練を受けました。カリキュラムは南科管理局が3/4の費用を負担して、総計550万元に達しました。

2009年創新研究開發奨励奨

産業別	件数	金額	百分率
バイオテクノロジー	4件	930 万元	31%
光電子	2件	720 万元	24%
精密機械	3件	765 万元	26%
通信	2件	585 万元	19%
合計	11 件	3,000 万元	100%



2009年專業並びに技術人材教育訓練計畫記念撮影(2009.2.12)



第2期固本精進計畫說明會プレゼンテーション情況(2009.1.15)



城邦文化グループ執行長何飛鵬(中)が「自慢できる仕事哲學：現代職場の創新思維を談じる」について講演(2009.5.20)



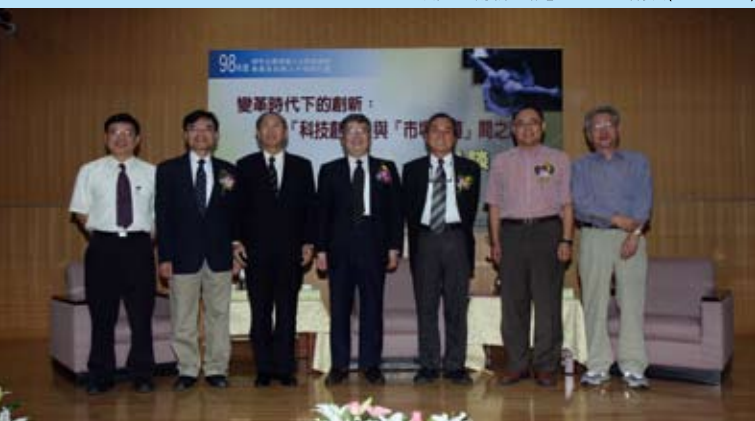
中華電信(股)公司董事長呂學錦(中)が「電信產業の競争と世界的戦略」について講演(2009.9.2)



南科太陽エネルギー水陸両用車親子チャレンジ・キャンプ(2009.10.24)



Yahoo! 奇摩台湾地区總經理洪小玲(左)が「ブランド設置と創新思維」について講演(2009.11.9)



許士軍・元智大学教授(中)が「變革時代下の創新：『科学技術の創新』と『市場價值』の間の溝を越える」について講演(2009.10.12)

高雄園區の電信技術人材教育訓練計畫

電信従業員の專業技術及び競争力を向上させるため、高雄園區は2009年に電信技術カリキュラムを計7回行い、総時数は42時間、203人が教育訓練を受講しました。

固本精進(基盤を固めながら、さらに進歩させる)計畫の推進

国科会は世界的な金融津波の我が国科学工業園区内のハイテク業者の経営に対する影響に対応し、園区内のハイテク業者の核心技術エンジニアの流出を防ぐため、また学術研究界の研究開発エネルギーとメーカーを結び付けて提携研究を行い、園区内のメーカーが研究開発に対して継続投資することを奨励して、研究開発能力を固守し産業技術に精進できるようにするため、特に「科学工業園区固本精進研究計畫」を企画しました。南科第1期の計畫補助案は11件で、経費4,880万円の補助を許可し、補助を受けた研究開発人員は217名で、将来の産業におけるハイテク・エリート人材41名を育成しました。第2期の計畫補助案は14件で、経費7,124万円の補助を許可し、補助を受けた研究開発人員は251名で、将来の産業界におけるハイテク・エリート人材47名を育成しました。

対談講座、活動報道

指標企業指導者との対談講座

2009年「指標企業指導者との対談講座」は計4回開催され、748名の参加を得ました。第1回は城邦文化グループ執行長何飛鵬を招き、「自慢できる仕事哲学：現代職場の創新思维を談じる」と題してテーマ講演を行いました。第2回は中華電信董事長呂学錦による「電信産業の競争と世界的戦略」、第3回は元智大学教授許士軍による「變革時代下の創新：『科学技術の創新』と『市場價值』の間の溝を越える」と題して講演でした。そして第4回はYahoo!奇摩台湾地区總經理洪小玲が「ブランド設置と創新思维」というテーマ講演を行いました。また別途2回開催した先進技術テーマ講座も合わせて、参加人員は述べ総計1,006名に達しました。

太陽エネルギー水陸両用車親子チャレンジ・キャンプ

グリーンエネルギー政策を推進するため、南科管理局、茂迪文教基金会、高雄応用科技大学、教育部太陽エネルギー学校、南科産学協会等の機関が共同で開催し、台南縣市、高雄、屏東県市の小学校3年生から6年生、中学1・2年生の児童生徒及び父兄を対象として、計350チームが参加しました。親子での模型車製作、省エネとCO₂削減の関連活動、省エネ製品の展示及び科学教育映画の放送等方式を通じて、若年層からの省エネに対する思维を育成しました。